7節 アクリル非水分散形樹脂塗料塗り(NAD) (改修)

7.7.1 一般事項 この節は、屋内のコンクリート面、モルタル面等のアクリル樹脂系非水分散形塗料の塗り替え及び新規に 塗る場合に適用する。

7.7.2 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りは表7.7.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

	表7.7.1 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り										
工程		種	別		塗り工法その他						
	任王	A種	B種	規格番号	規格名称	(kg/m^2)					
				モルタル面	モルタル面の下地調整は、表7.2.4によるRB種とする。						
下地	下地調整		ノ (注)2	コンクリート面の下地調整は、表7.2.5 によるRB種とする。							
		(注)1(注)2		押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種とする。							
1 下塗り 〇 〇			0	JIS K 5670	アクリル樹脂系非水分散形塗料	0.10					
2 研磨紙刷り		0	_		研磨紙刷りP220~240						
3 中塗り		0	_	JIS K 5670	0.10						
4 上塗り		0	0	JIS K 5670	アクリル樹脂系非水分散形塗料	0.10					

⁽注) 1.下地調整の種別は、塗料その他の欄による。

2.新規に塗る場合は、下地調整に代えて、素地ごしらえを、モルタル面は表7.3.4によるB種、 コンクリート面は表7.3.5によるB種、押出成形セメント板面は表7.3.6によるB種により行う。

表7 2 4 モルタル面及がせっこうプラスター面の下地調整

	表7.2.4 モルダル面及びもつこうプラスダー面の下地調整									
	工程		種別		塗料その他			面の処理		
	工 1	RA種	RB種	RC種	規格番号	規格名称	種類	面の処理		
		0					,	ディスクサンダー、スクレーパー等に		
	┃ 既存塗膜)		_		_		より、全面除去する。		
1	の除去							ディスクサンダー、スクレーパー等に		
	り除五		0	—		_		より、劣化し脆弱な部分を		
								除去し活膜は残す。		
2	汚れ、	0	С	0				素地を傷つけないようにワイヤ		
Ľ	付着物除去						ーブラシ等により、除去する。			
2	ひび割れ部	0	0					4章[外壁改修工事]によるひび		
Ľ	の補修))					割れ部の補修は 特記 による。		
4	吸込み止め	0	С		JIS K 5663	合成樹脂		既存塗膜を除去した範囲に		
Ľ	数込みが正め))		010 K 0000	エマルションシーラー		塗り付ける。		
5	穴埋め・	0	С		JIS A 6916		C-1	ひび割れ、穴等を埋めて、		
Ľ	パテかい))		JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	不陸を調整する		
6	研磨紙刷り	0	0	_		研磨紙P120~220	乾燥後、表面を平らに研磨する			
Ľ	別居似削り		1	0	研磨紙P240~320					
7	パテしごき	0			JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面をしごき取り、平滑にする		
Ľ	/ \)			JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	土山でしてさ扱り、十月にする		
8	研磨紙刷り	0				研磨紙P120~220		乾燥後、全面を平らに研磨する		

(注) 1.アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの場合、工程4の吸込み止めは、塗料の製造所の指定するものとする。 2.合成樹脂エマルションパテは外部に用いない。

表7.2.5 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整

	工程		種別		塗料その他			王の加州
				RC種	規格番号	規格名称	種 類	面の処理
								ディスクサンダー、スクレーパー等に
	既存塗膜	0						より、全面除去する。
1	の除去							ディスクサンダー、スクレーパー等に
	07 P. A	—	0	_		-		より、劣化し脆弱な部分を
	1							除去し活膜は残す。
2	汚れ、	0	0	0		_		素地を傷つけないようにワイヤ
	付着物除去		_					一ブラシ等により、除去する。
3	ひび割れ部					_		4章[外壁改修工事]によるひび
_	の補修							割れ部の補修は特記による。
4	吸込み止め	0	0	_	JIS K 5663	合成樹脂		既存塗膜を除去した範囲に
-						エマルションシーラー	0.4.0.0	塗り付ける。
		0			JIS A 6916	 建築用下地調整塗材	C-1•C-2	
			_		JIS A 0910	建架用下地调金型材 	CM-2	全面に塗りつけて平滑にする
5	下地調整						又は E C-1・C-2	
١٦	塗り				JIS A 6916	建築用下地調整塗材	CM-2	既存塗膜の除去部分の不陸
		—	0	_	013 7 0310	连来用了地侧走堂的	スは E	を調整する
					JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ		と明正する
		0	0		3.0 10 0000	研磨紙P120~220	111111111	+
6	研磨紙刷り	Ĕ		0	研磨紙(120~220 研磨紙P240~320			乾燥後、表面を平らに研磨する
	· - ·				JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	
7	パテしごき	0	_		JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	全面をしごき取り、平滑にする
8	研磨紙刷り	0		_		研磨紙P120~220	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	乾燥後、全面を平らに研磨する

- (注) 1.コンクリート面の場合は、工程4を省略する。
 - 2.合成樹脂エマルションパテは外部に用いない。
 - 3.工程5の建築用下地調整塗材のC-1、C-2、CM-2又はEの使い分けは、4. 5. 5[既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上外壁等の下地調整]の(ア)による。

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整

	工程		種 別	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	0 4277	塗料その他	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		
	工 程			RC種	規格番号	規格名称	種 類	面の処理	
	既存塗膜	0		_		_	ディスクサンダー、スクレーパー等に より、全面除去する。		
1	の除去		0	_		_		ディスクサンダー、スクレーパー等に より、劣化し脆弱な部分を 除去し活膜は残す。	
2	汚れ、 付着物除去	0	0	0		_	素地を傷つけないようにワイヤーブラシ等により、除去する。		
3	ひび割れ部 の補修	0	0	_		_	4章[外壁改修工事]によるひび 割れ部の補修は 特記 による。		
	下地調整 塗り(注)1	0		_	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1・C-2 又は CM-2	全面に塗りつけて平滑にする	
4		_	0	_	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1・C-2 又は CM-2	既存塗膜の除去部分の不陸 を調整する	
					JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形		
5	吸込み止め	0	0	_	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラー 及び弱溶剤系反応形 合成樹脂シーラー	_	既存塗膜を除去した範囲に 塗り付ける。	
6	パテしごき	0		_	JASS 18 M-202	反応形合成 樹脂パテ	2液形 エポキシ 樹脂パ [・] テ	全面をしごき取り、平滑にする	
7	研磨紙刷り	0	_	_		研磨紙P120~220	乾燥後、全面を平らに研磨する		
	TO THE SECOND P	_	_	0	研磨紙P240~320			+20次次、工画と「シに別店する」	

- (注) 1.押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。
 - 3.工程5のシーラー及び工程6のパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。
 - 4.JASS 18 M-201 及び M-202 は、日本建築学会材料規格である。
 - 5.屋内で現場塗装する場合、工程5の吸込止め及び工程6のパテしごきに使用する材料は、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定する水系塗料とする。

【4.5.5 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上げ外壁等の下地調整】

既存のコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に仕上塗材塗りを行う場合の下地調整は次による。

- (ア) コンクリート面の下地調整は、次による。
 - (a) 目違いは、サンダー掛け等により取り除く。
 - (b) 下地面の清掃を行う。
 - (c) 下地調整塗材 C-2 を、1~2mm 程度全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、スラブ下等の見上げ面、 厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。
 - (d) 下地の不陸調整厚さが1mm 以下の場合は、(c)の下地調整塗材 C-2 に代えて、下地調整塗材C-1を平滑に塗付けることができる。
 - (e) 下地の不陸調整厚さが3mm を超えて 10mm 以下の場合は、(c)の下地調整塗材 C-2 に代えて、 下地調整塗材 CM-2 を平滑に塗り付ける。

表7.3.4 モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ

	工程		別	塗 料 そ の 他			面の処理
			B種	規格番号	規格名称	種 類	画の処理
1	乾燥	0	0		_		素地を十分に乾燥させる
2	汚れ、付着物除去	0	0		_		素地を傷つけないように除去する
3	吸込み止め	0	0	JIS K 5663	合成樹脂エマルション シーラー		全面に塗り付ける
	, 穴埋め・			JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて、
4	パテかい	0	0	JIS K 5669	合成樹脂エマルション パテ	耐水形	不陸を調整する
5	研磨紙刷り	0	0		研磨紙P120~220		乾燥後、表面を平らに研磨する
				JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	
6	パテしごき	0		JIS K 5669	合成樹脂エマルション パテ	耐水形	全面をしごき取り、平滑にする
7	研磨紙刷り	0	_	·		乾燥後、全面を平らに研磨する	

- (注) 1.アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの場合、工程3の吸込み止めは、塗料の製造所の指定するものとする。
 - 2.仕上材が壁紙の場合、工程3、工程4及び工程6に用いる塗料その他は、壁紙専用のものとする。
 - 3.合成樹脂エマルションパテは外部に用いない。

表7.3.5 コンクリート面、ALCパネル面の素地ごしらえ

	マーロ 種別 塗料その他 FONTE									
	工程		別	塗 料 そ の 他			面の処理			
			B種	規格番号 規格名称 種類		画の処理				
1	乾燥	0	0		_		素地を十分に乾燥させる			
2	汚れ、付着物除去	0	0		_		素地を傷つけないように除去する			
3	吸込み止め	0	0	JIS K 5663	合成樹脂エマルションシーラー	1	全面に塗り付ける			
4	下地調整塗り	0	0	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1,C-2 CM-2又はE	全面に塗り付けて平滑にする			
5	研磨紙刷り	0	0		研磨紙P120~220		乾燥後、表面を平らに研磨する			
				JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1				
6	パテしごき 	0	_	JIS K 5669	合成樹脂エマルション パテ	耐水形	全面をしごき取り平滑にする			
7	研磨紙刷り	0	_		研磨紙P120~220	•	乾燥後、全面を平らに研磨する			

- (注) 1. コンクリート面の場合は、工程3を省略する。
 - 2. 合成樹脂エマルションパテは外部に用いない。
 - 3. 工程4の建築用下地調整塗材のC-1、C-2、CM-2又はEの使い分けは、4. 5. 5 [既存コンクリート、 打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上外壁等の下地調整]の(ア)及び(ウ)による。
 - 4. 仕上材が壁紙の場合、工程3、工程4及び工程6に用いる塗料その他は、壁紙専用のものとする。

表7.3.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

	工程		別		塗料その他		面の処理
			B種	規格番号 規格名称 種類		面の処理	
1	乾燥	0	0		_		素地を十分に乾燥させる
2	汚れ、付着物除去	0	0		_		素地を傷つけないように除去する
3	下地調整塗り (注)1	0		JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1,C-2 又はCM-2	全面に塗り付けて平滑にする
4	吸込み止め	0	0	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シ 弱溶剤系反応形合成		全面に塗り付ける
5	パテしごき	0		JASS 18 M-202	反応形合成樹脂パテ	2液形エポキ シ樹脂パテ	全面をしごき取り平滑にする
6	研磨紙刷り	0			研磨紙P120~220		乾燥後、全面を平らに研磨する

- (注) 1.押出成形セメント板面の場合は、工程3を省略する。
 - 3.工程4のシーラー及び工程5のパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。
 - 4. JASS 18 M-201及びM-202は、日本建築学会材料規格である。
 - 【4.5.5 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上げ外壁等の下地調整】 既存のコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に仕上塗材塗りを行う場合の下地調整は、 次による。
 - (ア) コンクリート面の下地調整は、次による。
 - (a) 目違いは、サンダー掛け等により取り除く。
 - (b) 下地面の清掃を行う。
 - (c) 下地調整塗材C-2を、1~2mm 程度全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、スラブ下等の見上げ面、厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。
 - (d) 下地の不陸調整厚さが1mm以下の場合は、(c)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材C-1を平滑に塗付けることができる。
 - (e) 下地の不陸調整厚さが3mmを超えて10mm 以下の場合は、(c)の下地調整塗材 C-2に代えて、下地調整塗材 CM-2を平滑に塗り付ける。